

令和6年産 温州みかん 樹に応じた摘果で品質向上へ

今年は表年傾向！

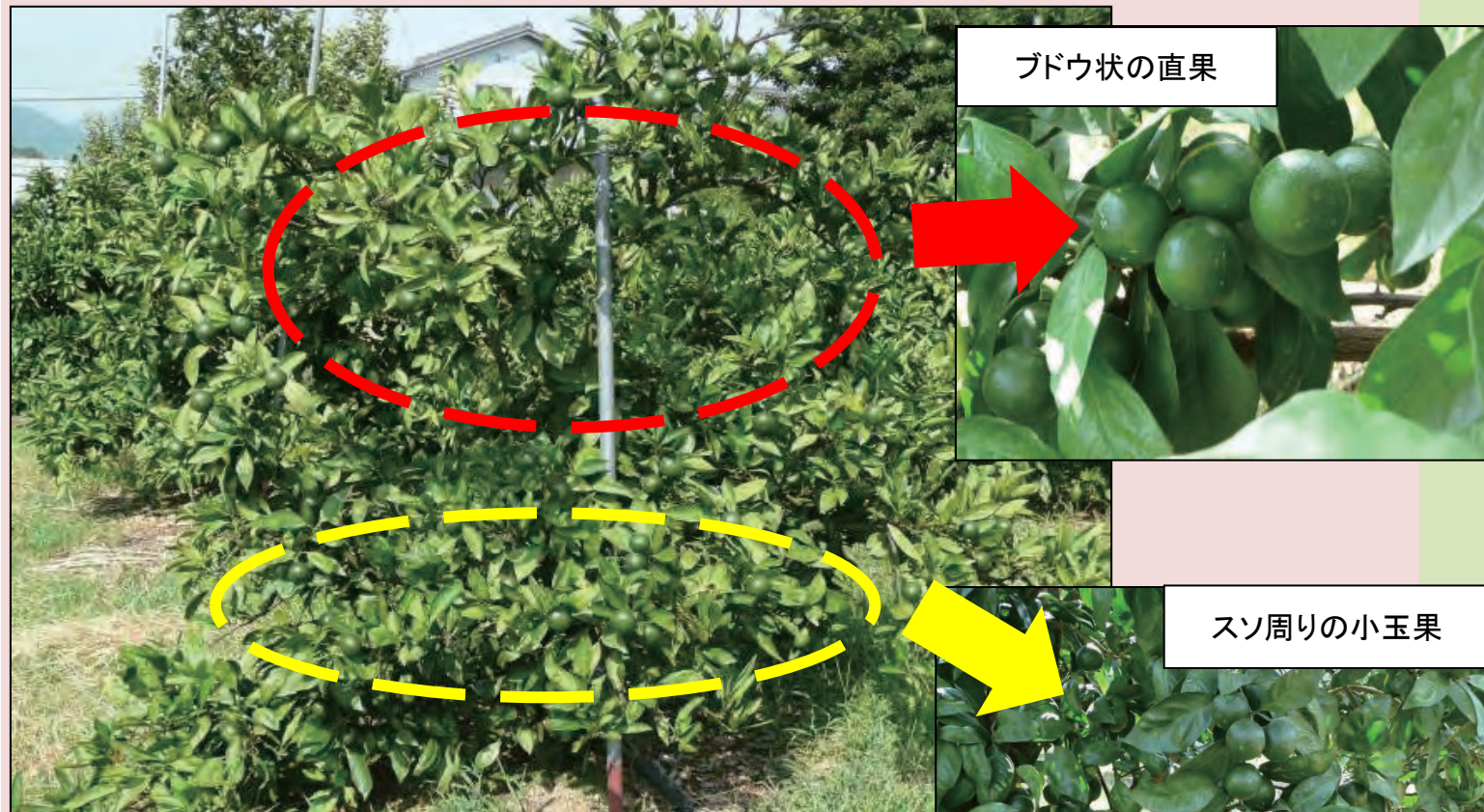
本年度の温州みかんの着花量は、極早生、早生、普通ともに、前年・平年よりやや多く表年型となっています。満開日は極早生(ゆら早生)で5月2日(前年同日・平年比4日早)、早生(宮川早生)5月7日(前年比4日遅・平年比1日早)、普通(林温州)5月7日(前年比2日遅・平年比1日早)といずれも平年に比べ1～4日早く、生育は前進傾向となっています。全体に着花量が多い傾向ですが、園地・樹ごとのバラツキが大きいいため、それぞれの樹に合わせた管理が必要となります。

【着果量[多～中]の樹】

着果が多い樹の粗摘果では、下記の果実を摘果して下さい

- ・樹冠内部の極小果を除去
- ・下向きブドウ状の直果を基部から除去
- ・スソ周りの極小果、奇形果、傷害果、病虫害被害果など徹底的に除去

着果の多い樹から計画的に作業を進めましょう！



ブドウ状の直果

スソ周りの小玉果

【着果量[少]の樹】

着果量の少ない樹では粗摘果を控えましょう

次年度の隔年結果是正(着花量抑制)のため着果ストレスを与え、後半～収穫前に摘果して下さい。また、着果させることで果実肥大が抑制され、果実品質が向上します。本年産だけでなく次年産を見据えた管理を行いましょう！

仕上げ摘果を重視しましょう

極早生(8月下旬)で20枚に1果、早生(9月下旬)、中生(10月中旬)で20～25枚に1果、晩生(10月下旬)で25枚に1果を目安に樹ごとの樹勢、着果量を見て摘果しましょう。

【参考】L・M・S果生産に必要な横径(mm)の目安は裏面に記載しています。

仕上げ摘果の目安



収穫前の適正着果量の状態



収穫の40日前頃までに、適正葉果比になるように仕上げましょう

日焼け果



日焼け果は、仕上げ摘果、樹上選別時に摘果しましょう。

病虫害被害果

